

多敗從官の各所警戒

川を迂迴するに、川床、別には、
 水より、約、十、分の、電力、の、配、給、
 を、受、け、る、に、て、一、二、に、配、給、
 の、如、く、事、業、の、進、化、の、事、を、言、
 する、に、加、て、美、濃、川、は、年、後、四、回、
 遊、歩、を、動、員、し、て、前、後、して、留、
 下、り、其、の、無、常、性、を、著、し、て、
 づ、つ、舊、來、に、關、し、た、て、極、端、を、
 行、つ、た、

運轉を會社に託して

た。その時、外へ出て問題
で、^(一)「お前」の形になつて、各
黨派所^(二)に郵便報告するに當つて質
問を出して、彼等黨は口を極めて
り強固な態度に臨つた。此時、郵政局長
がまず電二三々然と起上り、「質問
中止し、諸君は自分の意
志の發する所に従つ
て行動す可し」と嚴正した。
ので、労働職工の大部分は一様に引
掛ける持続に化した。然し、労働職工は連日
轉々中止を宣言して、各持続者を脅威
へ引起した上、暴出したのである。
そして、昨まで安芸川線會館く
この野を渡へた。

此所に在つても一部の過激派は
ボルトを投擲せよといつて騒い
て居た。折柄と云ふところから俄に
警備を打つて退出し、持続者も驚
いて度々這は此處を逆轉中止を
斷言して、持続士を逐去つたの
で、遂に一々身勝手無秩序の連中
も頗る温和な態度であつた。夫

職工の應援を各所に求む

[illegible]

穩和派は復歸せむ

右の旨を稟表した。一生つ解雇さ
れた職工数は安芸川建設院職工四
百六十七名、助手十九名、春日田
建設所職工三百七十六名、助手十
五名、合計八百七十七名である。

示ふから一燈籠を懸けには驚いて衆
 衆はかけぬきしつてゐる。三つ
 が、音響を聞取の切實に故障を生じ
 北窓、北條、幸町、意地、其の地名を
 総て所へのは語は、本日午後六時
 十五分の觀覽時から第一回觀覽
 生、七十三分に至つて漸く點燈
 をした。其時、城は殆ど大阪、市街
 郷村に及ぶた、驚き立た所も
 り、幾つ道に頓、堀の各劇場、
 活動氣、眞館等では性
 念境で暗闇となつた
 ま、何時までも點燈
 せず、大いに面喰つた
 が、木紙の號外で、
 延の原風は、其の爲に、
 集あつた

衣愛曾は一名もなき官より、養念
 彼が誘惑しやうとてしつゝ之に
 應ずるものは一人もあらずと云
 います從つて今の所を以て離すや
 無難は何もと云ひたまふを以て
 御手前では九月午後六時三十分

に^{から}大電力の供給を依
して來たので同夜は一萬二千基^{まで}
十日よりは一萬二千基^{まで}を供給して
居る

十一月十一日 舉行
午後七時
に於て同情園の名で反響印刷
工組合向上會新進友曲工
合、劇子工組合等が聯合して電

組合の有志出資、労働者として
批判を加へるようになった